

# 見学会／東京駅周辺地下空間ネットワーク

## ー地下歩行空間ネットワークの改良と拡充ー

日 時：平成29年12月12日（火）13:30～17:30（受付開始13:00）  
場 所：（集合場所） ECOZZERIA（エコッツェリア） 3×3ラボ サロン  
東京都千代田大手町1-1-2 大手門タワー・JXビル1階（別添地図参照）  
主 催：公益社団法人土木学会 地下空間研究委員会（担当：計画小委員会）  
CPD：土木学会CPD認定プログラム（4.0単位）

今回の見学会は、昨年の『東京駅周辺地下空間ネットワークー地下歩行空間のネットワーク形成の歴史ー』に引き続きの見学会です。

東京駅周辺の大手町・丸の内・有楽町地区（以下、大丸有地区）は、面積約120haに、地下鉄7路線13駅があり（半径300mの駅勢圏で全域カバー）、八重洲から東銀座に至る総延長約18kmの地下歩行空間のネットワークが整備されています。この「地下歩行空間ネットワーク」は「地上の歩行空間」とともに、高度に集積した業務機能・交流機能を有する大丸有地区の「インフラ」として、就業者（24万人）や来街者など人々の日々の活動を支えています。

この地区の地下歩行空間のネットワークは、戦後、丸の内線の開業にはじまり、日比谷線、千代田線・三田線、半蔵門線など各路線の開業に合わせて、ラッチ外コンコースを骨格（幹線）として形成されてきました。この骨格形成から約半世紀を迎えようとしています。

近年、大丸有地区ではビルの建て替えが進んでいます。同時に『まちづくりガイドライン』にしたがい、街並みや景観の形成、広場空間、歩行空間の再整備が進められています。地下歩行空間についても、地上の歩行空間と連携した整備方針が定められており、既設の地下鉄駅やラッチ外コンコースを中心とした地下歩行空間ネットワークの改良が進んでいます。また、各ビル地下階を連絡する形でのネットワークの拡充が進んでいます。

今回は、大丸有地区の都市再生に合わせて進められている、地下歩行空間ネットワークの改良と拡充について各事業者から説明をいただき、その現地を見学します。

## 1. プログラム

- 13:30～15:30 大丸有地区の地下歩行空間ネットワークの改良と拡充について（説明）
- 15:30～15:45 見学地点と要点について（説明）
- 15:45～17:30 見学（自由見学）

## 2. 参加申込

- 定 員：40名（参加には事前申込みが必要です。定員に達し次第締め切ります。）
- 申込方法：土木学会ホームページ(<http://www.jsce.or.jp/>)「本部主催行事の参加申込」よりお申込み下さい。
- 申込締切：2017年12月5日（火）必着
- 参加費：無料

### 3. 集合場所



#### 電車によるアクセス

東京メトロ東西線・千代田線・半蔵門線・丸ノ内線・都営三田線  
「大手町駅」(C10 出口)より徒歩約2分

#### 住所

東京都千代田区大手町 1-1-2 大手門タワー・JXビル 1階  
TEL：03-3287-6200

以上



お問い合わせ先

主催：公益社団法人土木学会 地下空間研究委員会  
(担当：計画小委員会)

連絡先：公益社団法人土木学会 研究事業課 杉岡 清博  
〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目(外濠公園内)  
E-mail：sugioka@jsce.or.jp